

BODセット (河川用)

BOD Set: River Water

型式：BOD-K

価格：17,000円(税別)

河川の水を採取した時と5日後のDO(溶存酸素)の値を比べるだけで、誰でも簡単に河川のBODを測定できます。無機栄養塩液の導入、比色しやすいシート型標準色の採用により、定量性を向上させました。

[注意]この測定では菌の植種を行わず、5日間一定温度下(20℃)に保持をしないため、JIS法のBOD₅とは一致しないことがあります。

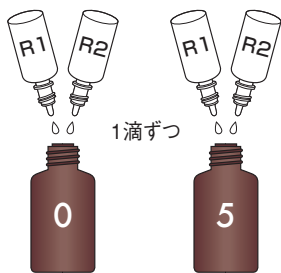
標準色1枚入り。
包装外形 約260L×200W×110H mm
梱包重量 約1.1kg



測定原理	室温、5日間での溶存酸素減少量測定法 (DO測定：酸性インジゴカルミン比色法)
測定範囲	1~9以上 mg/L 程度
測定回数	最大15回
内 容	溶存酸素(DO)キット(アンプル30本、標準色、スナッパー)、 無機栄養塩液R1・R2、 培養用ガラスビン6本、 取扱説明書(測定結果例、データシート付き)
条 件	・菌の植種なし・検水の希釈操作なし・検水の温度制御なし

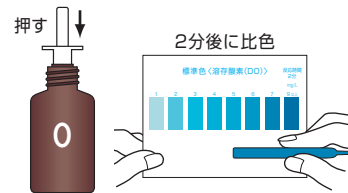
測り方

- ①セット内のビン2本にそれぞれ無機栄養塩液R1・R2を1滴ずつ、滴下します。

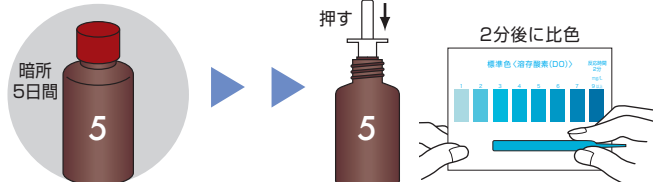


- ②2本とも口まで一杯に検水(川の水)をくみ、空気が中に入らないように、すぐにフタをしっかりとしめます。

- ③その場ですぐに、1本だけDO(溶存酸素)を測定します。これをDO₀とします。



- ④採水した残りのビン1本を持ち帰り、暗くした温度変化の少ない場所に5日間放置した後、DOを測定します。これをDO₅とします。



- ⑤③のDOから④のDOを差し引いて、BODを求めます。 $BOD = DO_0 - DO_5$

ビンの本数を増やし、毎日DOを測定すれば、DOの変化が連続的にわかります。

BODセット (排水用)

BOD Set: Wastewater

型式：BOD-H2

価格：80,000円(税別)

工場排水等では、BOD値が大きい場合もあることから、適切な希釈等の試料調製が必要です。

このセットでは、わかりやすく詳細なマニュアルと簡易化した試薬や測定器具等を用いて、5日間のDO変化から排水のBODを測定できます。

横浜国立大学発ベンチャー企業(有)環境資源システム総合研究所との共同研究により、本製品(河川用・排水用)の開発を行いました。

包装外形 約260L×200W×110H mm
梱包重量 約1.3kg



測定原理	20℃、5日間での溶存酸素減少量測定法 (JIS K 0102 21.を簡易化、DO測定:酸性インジゴカルミン吸光光度法)
測定範囲	希釈段数、希釈倍率により異なる。
測定回数	DO測定回として30回分
内 容	デジタルパケット溶存酸素、 溶存酸素(DO)計補充品 7512、 無機栄養塩液R1・R2、培養用ガラスビン 6本、 取扱説明書(測定結果例、データシート付き)
条 件	・菌の植種は適宜 ・検水の希釈は適宜 ・検水の温度制御は必須

特長 BODセット(河川用)と比べ・・・

- ◆ デジタルパケットを用いて溶存酸素(DO)をより詳細に測定します。
- ◆ 恒温槽を用いて5日間の反応条件を一定に保ちます。
- ◆ 5日後の溶存酸素(DO)が40～70%になったものを採用値とするため、検水を数段階に希釈します。

補充品

型式	製品名	入数	価格	共通	BODセット(河川用)のみ	BODセット(排水用)のみ
BOD-R1	無機栄養塩液 R1	30回分以上	1,800円(税別)	●		
BOD-R2	無機栄養塩液 R2	30回分以上	1,800円(税別)	●		
AZ-DO-10	溶存酸素(DO)キット	10回分	3,200円(税別)		●	
AZ-DO-30	溶存酸素(DO)キット(30回分入り)	30回分	8,000円(税別)		●	
R-7512	溶存酸素(DO)計補充品 7512	30回分	6,600円(税別)			●
BOD-BT	培養用ガラスビン	6本	900円(税別)	●		